



ブックマ

『ピカソの絵本～あっちむいてホイッ！』



ゆうきまさこ 「うせい ぶん」 1993年初版 ねんしよほん しょうがくかん ひしだししよ(7のしよほん)

みなさんは、ピカソの絵をみたことがありますか？

ピカソほど生涯を通して、多くの絵をのこした画家はいないでしょう。ピカソは見たものをそのまま描きません。ですから、「創造と破壊の画家」といわれています。

でも、その想像力は、人の目をくぎづけにします。ピカソの絵を見た人は、忘れられない衝撃をうけるはずです。



中でも有名なのは、「ゲルニカ」という絵です。これは、故郷のスペインの小さな村のゲルニカが、戦争で爆撃を受けたことを知り、描いた絵です。絵を通して戦争の悲惨さをうたえたことで有名です。また、ピカソはいろいろな手法を用いて絵を描き続けますが、生涯をとおしてかわらなかつたことは、「人間を描く」ということでした。ピカソの作品は、ほとんどが人物像です。

先日、3-1でピカソの「泣く女」という絵をつかって、ワークをやりました。

顔が崩壊してしまうほど泣いている人の心を想像して、その人を泣きやませるために、思いやりのある言葉を選んでワークシートに、自分の言葉をつかって書くことができました。

みんな、どんな言葉で自分の想像したことを表現したでしょうね？

ぜひ、見に行ってみてください。

